

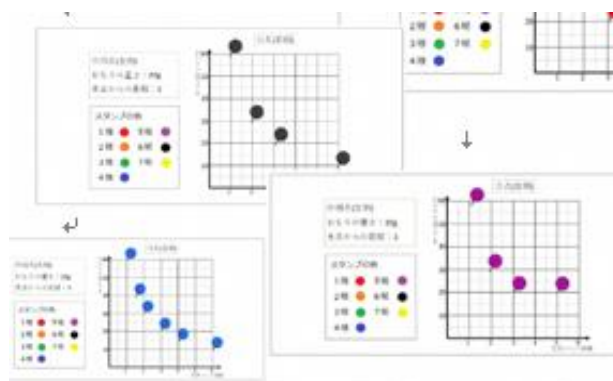
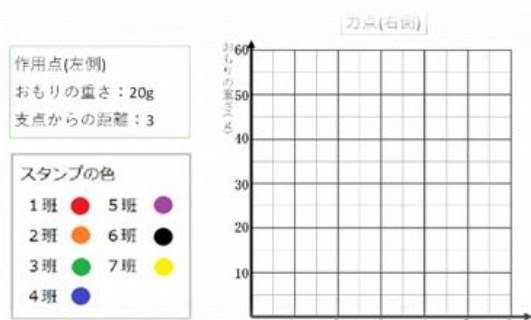
礪川小学校 6年 理科「てこ」

授業のねらい

- てこの規則性について、力を加える位置や大きさに着目して調べる。
- 実験結果から、実験用てこの両腕がつりあう時の決まりに気付く。

ICT活用の工夫

- 実験結果をムーブノート上のグラフにピン機能を活用し、入力する。
- 班ごとの実験データを「みんなの広場」に投稿させることで、ほかの班の結果をすばやく確認できるようにする。
- 自分の班の結果と他の班の結果を比較することで、共通点や相違点を発見する。



児童の様子

- 操作に関して、一度教えればすぐに理解できた。
- グラフの形から規則性がありそうだとすることに、全ての児童が気付くことができた。

成果

- 紙の表にまとめるよりも、視覚的に分かりやすいため、紙の表では気付かなかった児童が、デジタルの表から規則性がありそうだとすることに気付くことができた。
- 手書きよりも簡単にきれいなグラフを作ることができ、指導の効率化につながった。
- ムーブノートを使用した授業を実践することができた。

課題

- 従来の紙でのやり方で理解できるのであれば、紙の表のほうが分かりやすく、楽にまとめられると感じた。学習の補助教材としては検討が必要である。